図書館つうしん

問中央図書館　TEL 24-1507

【11月の休館日】
11月2日㈪・3日㈫㊗・9日㈪・16日㈪・
23日㈪㊗・24日㈫・26日㈬・30日㈰
イベント情報、資料検索・予約は図書館ＨＰで▶

【秋の読書週間】

読書の秋、図書館でお気に入りの本を見つけませんか？
当館では秋の季節や様々なテーマに合わせた特集コーナーをご用意しています。ぜひ、心に響く本とともに、読書の秋をお楽しみください。

【ブックパックを貸出します！】

図書館司書がおすすめする大人向けブックパック（お楽しみ袋）を貸出します。限定20パック。
お早めに！（中央図書館、やさと図書館）

【11月のおはなし会】

【こども図書館本の森】
7日㈯　おはなし玉手箱（午前10時～）
12日㈬　ひよこのおはなしかい(午前10時30分～)
21日㈯　むかしむかしのおはなし会（午前10時～）
【郷の本棚やさと図書館】
14日㈯　おはなしフレンズ（午後2時30分～）

【絵本作家小林由季（こばやしゆき）さんとみんなでつくる大きな絵】



読み聞かせとお絵描きのワークショップを開催します♪

日時：12月13日㈰
午後1時30分～3時30分(午後1時開場)
会場：中央図書館　3階　読書室
対象：4、5歳程度から小学生まで
定員：15名　※参加無料。
申込：11月11日㈫から中央図書館へ電話または電子申請にて▶

※アクリル絵の具は落ちにくいため、汚れてもよい服装でお越しください。
その他詳細は図書館ホームページをご確認ください。

時の記憶



神輿の露祓（みこしつゆはらい）を務める土橋町の幌獅子
（令和5年9月16日撮影）

シリーズ252

「幌獅子（ほろじし）の成立過程を探る」

問文化振興課（支所）
TEL 43-1111（内線1451）

常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）を彩る出し物に「幌獅子」があります。幌を被せた車輪付きの小屋に囃子方（はやしかた）を乗せ、小屋の前に立つ若者が大きな獅子頭を揉みながら歩く、石岡独特の出し物です。

ではそれは、いつ、どのようにして生まれたのでしょうか。江戸時代の記録を見ると、嘉永7年（1854）に「土はしは当年より定例大獅子」とあります。この年から土橋町は「大獅子」を出し、以後「定例」毎年出すようになったと読み取れます。

ただ、この「大獅子」が現在のような幌獅子だったかというと、そうではないようです。というのも、土橋町には「昔は竹材で馬車の車はつけず、担ぎ出す形式だった」また仲之内にも「明治期には竹で小屋（やぐら）を組み上げ、幌を被せたものを肩で担いだ」との伝承があるからです。つまり、江戸時代の「大獅子」とは、竹材で組んだ小屋（やぐら）状の形で、担ぐ方式だったと考えられそうです。

それは具体的にはどのようなものだったのでしょうか。またそれがなぜ変化し、現在の幌獅子が成立したのでしょうか。

現在開催中のふるさと歴史館企画展では、その謎に「形態」と「芸態」から迫ります。

企画展「幌獅子　成立過程を探る」
期間／12月27日㈰まで
場所／ふるさと歴史館（総社1-2-10）
休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

文芸いしおか

いしおか俳句同好会

夜明け待ち愛犬と行く涼新た　岡野　はつ子（小幡）
青紫蘇やバッタの糧をのこしけり　菅野　憲枝（南台）
笠とればピチピチギャルの風の盆　四日市　ゆみ子（旭台）
老眼の進みたるかな秋の夜　若色　茂（山崎）

やさと俳句会

秋の雨眺め句作り九十八歳　羽生　俊（柴内）
夫の背に刈田の匂ひ残りけり　鈴木　恵子（瓦谷）
秋灯下乱れた文字の日記書く　秋山　享弘（宇治会）
朝顔や空の藍色見て開く　岡村　素泡（柿岡）

いしおか川柳会

物好きは良きも悪しきも試しみる　大橋　初枝（小幡）
ＡＩは誰の相手もしてくれる　岡野　はつ子（小幡）
砂時計三分間のドラマあり　桜井　紀美子（青田）
親切のバトン渡せば止む戦火　小川野　蛙（府中）

石岡俚謡会

今宵月見は　感謝を込めて　栗を供えて　十三夜　香倶耶姫（南台）
和風洋風　中華もいける　茄子は役者だ　七変化　坂下　蜻蛉（国府）
たまのデートは　彼女の好み　いつも決まって　地下売場　醍醐　正夫（東大橋）
俺も見つけた　小さな秋を　シャワー温度を　一度上げ　若色　茂（山崎）
ふっくら実った　朝採り茄子を　糠で漬ければ　母の味　紺野　毬（国府）
お盆過ぎれば　祭りの稽古　子らの太鼓が　秋を呼ぶ　小川野　蛙（府中）

投稿作品

しあわせは連れてくるよねあの星が　田邊　せつ子（若松）
夜明け待ち相手さがしの恋の歌ピーチク鳴いて羽をひろげる　田邊　一夫（若松）
青栗を畑一面に　落とし過ぐ　逆走台風の　被害多かり　荒井　幸子（山崎）
くすり湯で　家族満足　健康体　関根　貞臣（若宮）

文化協会だより

第64回「石岡盆栽菊友会」

当会は、近隣地域の盆栽菊愛好者が集い、栽培技術の向上と普及拡大を目指し、平成22年4月に発足しました。

年間を通して菊苗の交換、栽培の手順、手法又は実技について、意見を交わしつつ盆栽菊作りを楽しむといった、フレンドリーなグループです。

毎年11月初旬から中旬にかけて「ひまわりの館」にて盆栽菊展示会を開催し、5月～10月の間は月1回ずつ研修会を実施しています。また、笠間稲荷神社での菊花県大会、近隣の菊花展示会に出展するなど幅広く活動しています。

一方、ここ数年、会員数が先細り傾向にあり、近隣地域での“仲間づくり”を喫緊（きっきん）の課題として取り組んでいるところです。

ついては、経験の有無は問いません。誰でも大歓迎。盆栽菊に興味のある方はお気軽にご一報ください。





問石岡盆栽菊友会（岡野　淳）
TEL 090-5760-6427